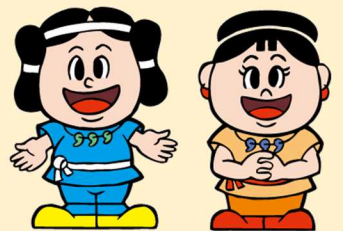


春日市脱炭素ロードマップ



春日市マスコットキャラクター



かすがくん

あすかちゃん

1

ロードマップの目的と位置づけ

春日市は、2022年7月に**ゼロカーボンシティ**（2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指すことを表明した自治体）宣言をして、「第3期春日市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）改定版」において、2030年度における二酸化炭素排出量を50%以上削減（2013年度比）することを削減目標として設定しました。

本ロードマップは、「第6次春日市総合計画」「第3次春日市環境基本計画」を上位計画とし、「第3期春日市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）改定版」とともに、2050年カーボンニュートラル実現のために必要な施策・取組等を取りまとめることにより、春日市の**脱炭素に係る長期的な方向性**を示すものです。

第6次春日市総合計画

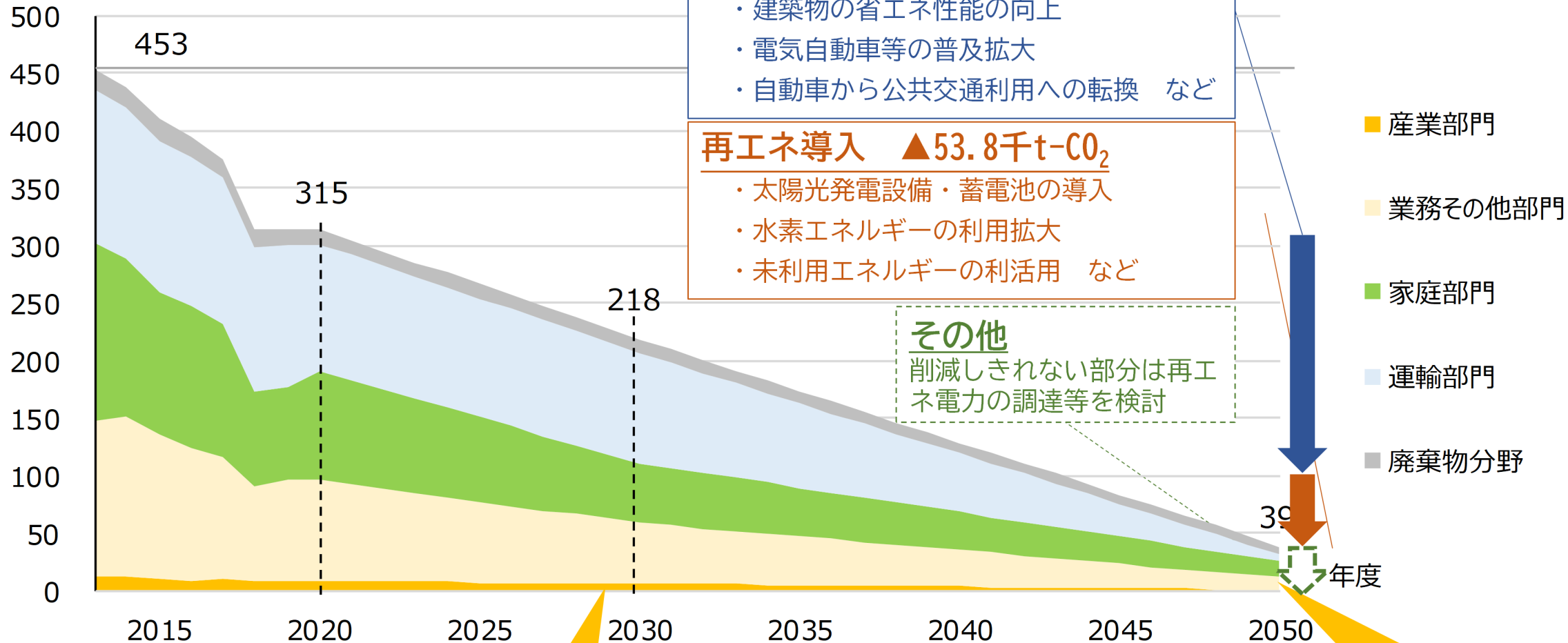
第3次春日市環境基本計画

春日市脱炭素ロードマップ

第3期春日市地球温暖化対策実行計画
（区域施策編）改定版

(千t-CO₂)

二酸化炭素排出量



3

将来ビジョン(1)

春日市では、2050年カーボンニュートラルに向けて、今できる取り組みに限らず、現在の新技術の導入検討、研究がなされている新技術の情報収集をしていきます。

1 移動手段の脱炭素化

次世代自動車やシェアリングの普及、公共交通機関の利用促進、宅配ボックスの設置 など

次世代自動車の導入



出典：Tokyo水素ナビ ウェブサイト

次世代自動車には電気自動車(EV)、ハイブリット車、水素燃料電池自動車(FCV)があります。EVは、太陽光発電設備と一緒に導入することで、燃料費の削減にもなります。

宅配サービスの有効活用



1回で受け取りませんか

宅配ボックス等が設置され、1度で受け取る仕組みが構築されています。様々な宅配サービスがあるため、上手に活用していくことが求められます。

自動運転技術の活用



出典：福岡地域戦略推進協議会 ウェブサイト
<https://www.fukuoka-dc.jp.com/pressrelease/14541/>

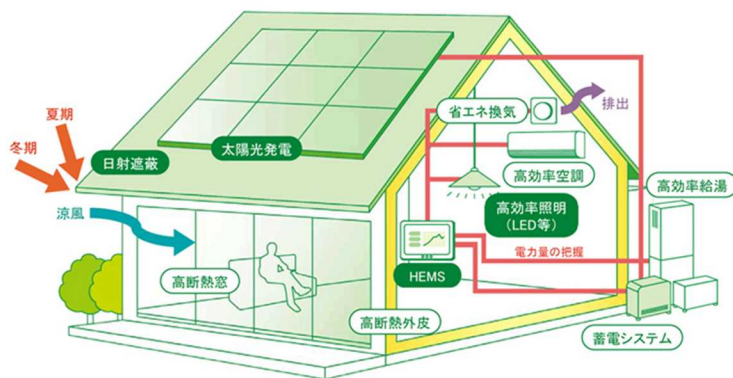
自動運転技術の実証実験も日本各地で行われ、交通機関の利便性の向上や人手不足の問題解決が期待されています。



2 建築物の脱炭素化

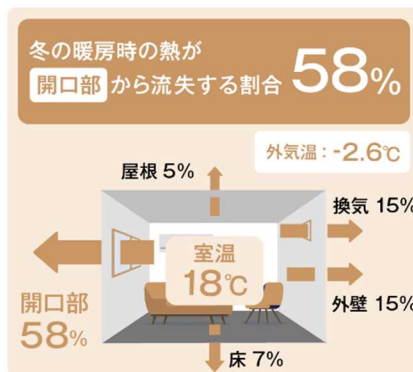
ZEB化やZEH化、断熱改修の実施 など

ZEH(ゼッチ)

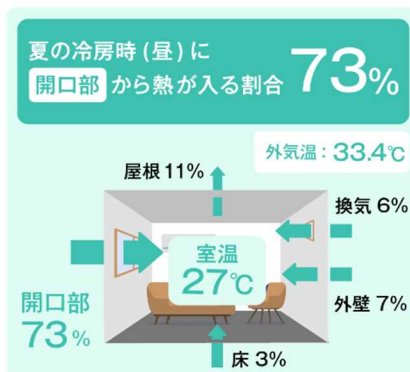


出典：資源エネルギー庁 ウェブサイト

開口部(窓・ドア)の断熱化がポイント



出典：住宅省エネ2025キャンペーン ウェブサイト



「ZEH(ゼッチ)」とは、「Net Zero Energy House」の略で、快適な室内環境を実現しながら、「消費するエネルギー≒創るエネルギー」となる住宅です。また、「ZEB(ゼブ)」は、ZEHと同様な意味で、住宅以外の一般の建物を指します。

春日市においてもZEHの住宅やマンションがみられるようになっていますが、今後も普及させていくことが重要です。

ZEH等の導入、窓・ドアの断熱改修は省エネだけではなく、電気料金の節約にもつながります。

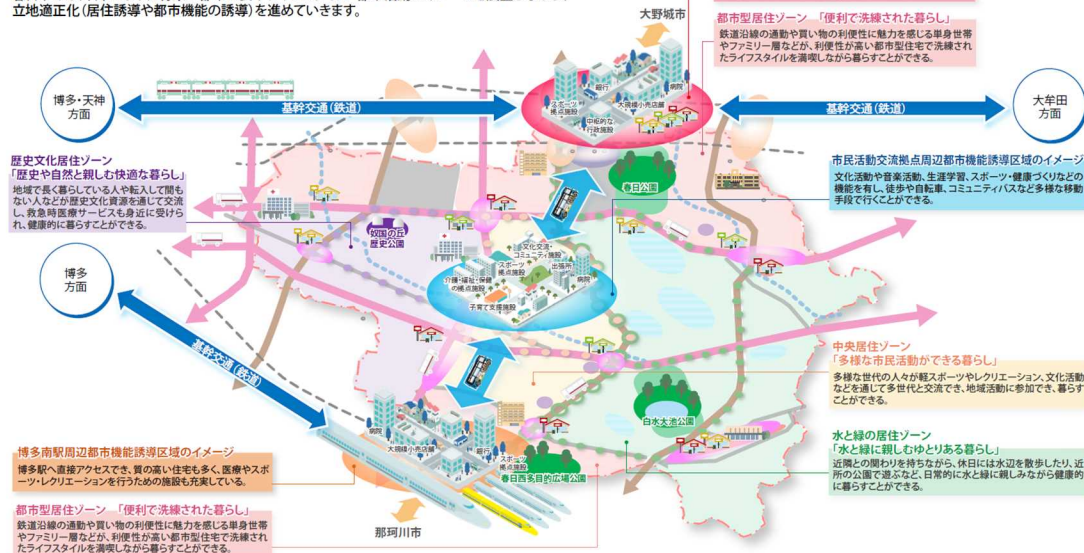
3 脱炭素のまち

自転車通行空間の整備など自転車利用の促進、
渋滞のないまちづくり など

春日市立地適正化計画の将来イメージ

春日市における立地適正化計画の将来イメージ(都市の姿とライフスタイル・都市活動)

春日市では、以下のように将来の都市の姿やライフスタイル・都市活動のイメージを展望しながら、立地適正化(居住誘導や都市機能の誘導)を進めていきます。



春日市では、「コンパクト・プラス・ネットワーク」により、
渋滞のないまちづくり、自転車を利用しやすいまちづくり、
歩いて楽しく暮らせるウォーカブルなまちづくりに取り組んでいます。

脱炭素のまちは、安全・安心で快適なまちにもつながります。

4 潤いのあるまち

公園やため池など身近な緑地の保全、
市民農園の活用 など

緑のカーテン



出典：春日市ウェブサイト

緑のカーテンは緑化だけではなく、直射日光を遮ることで省エネにもなります。

市民農園の活用



出典：春日市ウェブサイト

春日市では、食育、地産地消、健康増進、
地域コミュニティ推進を目的に、市内の
農地を市民農園として貸し出しています。

春日市には森林が少ないため、まちの緑化には市域の皆さんの協力が
欠かせません！ 緑のカーテンや花いっぱい運動などで、身近な緑を
増やしていきましょう！



3

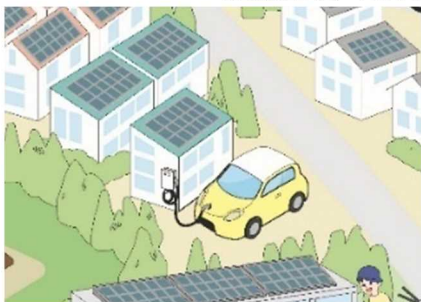
将来ビジョン(3)

5

エネルギーの地産地消

省エネ行動・機器の定着、住宅屋根への太陽光発電の導入 など

建物屋根への太陽光発電導入



太陽光発電を導入することで、自分で使う電気を自宅で作ることができます。学校など公共施設に導入すると、避難場所のレジリエンス強化にもなります。

ペロブスカイト太陽電池等の導入



ペロブスカイト太陽電池

出典：環境省ウェブサイト

壁面等の垂直面等に導入可能な太陽電池として、着目されており、実証実験も行われています。

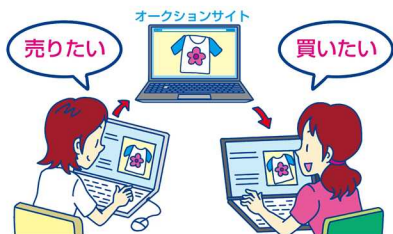
いまは再生可能エネルギーが設置できない場所にも、将来的には設置できるようになるかもしれません。

6

3R行動の実践

3Rの意識の定着、3R行動の実践 など

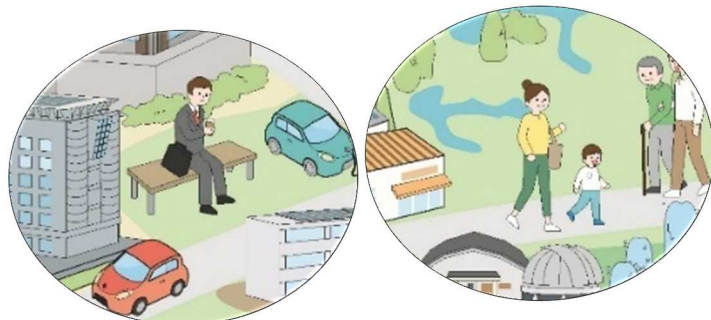
再使用の取り組み (リユースショップ等の活用)



出典：政府広報オンライン ウェブサイト
<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201503/5.html>

まだ使用できるものは、リユースショップ等を活用することで、ごみの削減につながります。

ごみを出さない生活様式の定着



マイボトルやエコバッグを使うなどごみを出さない生活様式を実践することが大切です。

生分解性プラスチック製品の選択



出典：日本バイオプラスチック協会 ウェブサイト
<http://www.jbpaweb.net/gp/>

生分解性プラスチックは微生物により分解され、自然界へと循環していく性質があり、ごみの削減につながります。

意識しなくても省エネ行動や3Rが当たり前に実践できるようになるといいね！



春日市の2050年カーボンニュートラルの達成絵図



① 移動手段の脱炭素化

- 次世代自動車やシェアリングの普及
- 公共交通機関の利用促進
- 宅配ボックスの設置 など

② 建築物の脱炭素化

- ZEB化やZEH化
- 断熱改修の実施 など

③ 脱炭素のまち

- 自転車道の整備など自転車利用の促進
- 渋滞のないまちづくり など

④ 潤いのあるまち

- 公園やため池など身近な緑地の保全
- 市民農園の活用 など

⑤ エネルギーの地産地消

- 省エネ行動・機器の定着
- 住宅屋根への太陽光発電の導入 など

⑥ 3R行動の実践

- 3Rの意識の定着
- 3R行動の実践 など



みんなで春をつくろう

春日市脱炭素ロードマップ[°]

- 発行日 2025（令和7）年3月
- 発行者 春日市 協働推進部 環境課

T E L 0 9 2 - 5 8 4 - 1 1 1 1

m a i l kankyo@city.kasuga.fukuoka.jp